

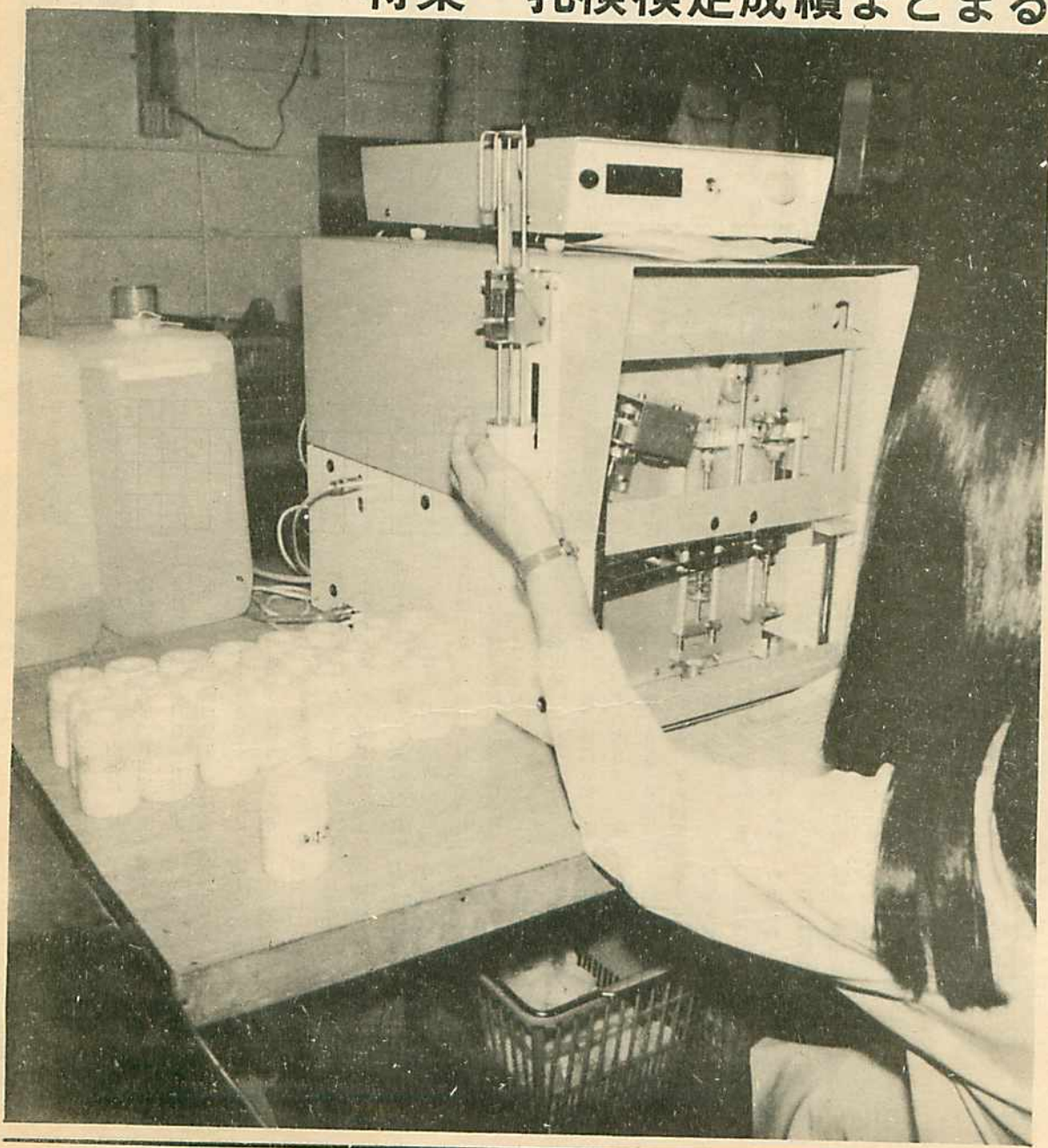
(1) 組 合 だ よ り

組合だより

発行所 中標津農業協同組合・中標津町農業共済組合

発 行 昭和51年11月 特集号 印刷・アート印刷株式会社

特集・乳検検定成績まとまる



乳検・検定成績の概要

昭和五十年四月よりこの乳検事業、三十九戸が検定されこの結果を取りまとめました。この活用方法については成績書が返還され活用されていると思いますが受検されていない生産者におかれましては、概要を参照の上活用願います。

一、検定成績活用意義

針盤

酪農経営は一種の迂回生産であり、いろいろな要素が組み合わされて成り立っています。

牛群の産乳能力や繁殖能力は、その網の目のような要素によってきまってくるもので、それを解きほぐしてわかりやすく実態を教えてくれるのが検定成績です。

●牛群改良をすすめるための検定成績

自分の飼っている牛群の能力を高めるためには

(1) 遺伝的にすぐれた種雄牛の交配

(2) 牛群内の雌牛のきびしい淘汰の二つが必要です。従来は、主として(1)だけの「半分」の改良に終

始する傾向が強かったのですが、牛群のなかで能力の高いものと低いものを科学的に選別する「あと半分」の改良が、検定成績によって可能になります。

●飼養管理技術の改善をすすめるための検定成績

このような改良によってすぐれた牛群をつくる一方、その能力を発揮するための環境条件を与えてやらなければ、ほんとうの成果がありません。飼料給与や日常の管理作業と環境を整えるための技術や知識を向上させる有益な情報を毎月、毎年提供してくれるのが検定成績です。

二、検定成績表(月報)の解説と活用

(1)「牛群の成績」欄

(ア)「今月の総生乳生産量」欄

この欄は各月毎に牛群検定成績を示すものです。

この成績を用いて牛群の泌乳曲線を作成し、自別生乳生産計画と対比して考察することによって、年間の推移と実態把握を通して問題点の発見が容易になります。

これを当面の飼料給与と飼料管理の改善に役立てることが大切です。

す。なお、泌乳曲線とともに飼料効果や乳飼比についても検定しましょう。



(イ)「最近十二か月の総生乳生産量」欄

この欄には最近十二か月の牛群検定成績が累積または加重平均値で示されていますので、年間の産乳成績を当初計画との対比、あるいは後述の「地域」や「全道平均」と比較検討し、達成度合や自己の水準を知るうえで役立てることができます。

また、毎月の成績表を累計保存し、前年同月、あるいは年度別の伸長や変せんを知ることに、経営の段階的な改善と適正な目標設定に活用することができます。

(2)「個体の成績」

(ア)「月別成績」

月別の成績は、各月、個体毎に示される数値で、その内容は「検定日の記録」(乳量、乳脂率)「今月の記録」(日数、乳量、乳脂量、乳飼比、飼料効果)に区分されております。ただし、無脂固形分は当面検定が可能な一部の組合に限られています。

成績数値のうち「今月の記録」の乳量を図化して、個体別に泌乳曲線を作成し、また「累計の記録」と「三〇五日」の「期待乳量」を対比しながら推移を検討し、飼料給与と飼養管理の改善に役立てます。

(イ)「乳期成績」

乳期成績は、毎月毎の成績を累積したもので、その内容は、「累計の記録」(日数、乳量、乳脂率、乳脂量、無脂固形分率、無脂固形分量、乳飼比、飼料効果)「三〇五日間の期待量または実量」(乳量、乳脂量)に区分されております。

「累計の記録」は、その個体の検定開始から乾乳または検定中止に至るまでの一乳期間の累計成績です。個体の乳期の最後の月にプリントされる数値がその乳期の終了成績ということになります。

「三〇五日間の期待量または実量」は、乳期の最初から九〇日以上の検定日数をもつ牛について、三〇五日間の検定を継続した時点の能力を予測した期待量を表示します。期待量は、乳量についてだけ表示し、しかも百キログラム単位にまるめて表示されます。検定日数が三〇五日以上になったものは、三〇五日間の実量が乳量、乳脂量について表示されます。

検定中の牛については、各月毎の三〇五日期待量とどのように推移するかを検討するとともに、期待量の低すぎるものは淘汰についても検討します。

検定は全牛、生涯が原則ですが、個体別産次毎に泌乳成績を保存して生涯検定成績を得ることが牛群改良を効率的に進めるうえで有益です。

この場合産次毎の成績を利用しやすくするため、個体別生涯成績台帳を設けるとよいでしょう。

記載項目としては、乳期最後に打出される「累計の記録」に繁殖成績(授精回数、分娩間隔、死、流産、供用種雄牛、産犊など)や交配指針等を含めて転記しておくことが望まれます。

また、前項の月別成績に基づく泌乳曲線も併せて保存し活用しましょう。(台帳様式は日本ホルスタイン登録協会制定のものが便利)

全道または支庁の牛群平均にくらべてどんな位置づけになるかを表示する予定

生肌散

1. 乾乳中
2. 179 日以下の生産
3. 一時的な検定中止
4. 除菌
5. 発情
6. 病氣
7. 記録が得られな
8. 補償した記録
9. 推定した記録

量文は実量

A	穀	平均 + 20%以上
B	穀	平均 + 19%以内
C	穀	道または支庁の平均 平均 - 19%以内

三、牛群の蓄積データによる集計

値

(注意事項)

(1) 本集計値は、一年間の牛群成績をとりまとめた分析したもので、個体の成績を累積したものではない。とくに以下の牛群データについては、下記の牛群データについて使用されている「一頭当り」の表現は、下記のとおり、一個体の年間成績ではなくて、牛群内の「換算の一頭当り」ですから利用上注意をして下さい。

(例)

換算一頭当り搾乳日数 月平均

検定頭数分の年間搾乳日数

換算一頭当り乳量 月平均検定

頭数分の年間総生乳生産量

(2) このとりまとめた対象となった牛群は、五十年四月から五十二年三月までの一カ年の全期間検定を実施した牛群だけとなっています。五月以降に検定を開始した牛群や市町村のものは、とりまとめた対象になっておりません。

A 年間成績の部

(1) 年間牛群成績

(活用方法)

●管内市町村の相互比較をしてみる。

●同一期間中(五十年四月、五十二年三月)の自己の五十

一年三月分の成績表の「最近十二カ月間の総生乳生産量」と市町村、支庁および全道と比較してみる。

●一頭当り産乳量、飼料効果、乳飼比の関連をとくに検討する。

(棒グラフに図化するとわかりやすい。)

(2) 年間産乳量階層別牛群成績

(活用方法)

●自己の年間(※)一頭当り産乳量を市町村、支庁および全道の該当する年間産乳量階層と比較検討する。

(※「最近十二カ月間の総生乳生産量」の五十二年三月分の成績表をみる)

●自己の年間一頭当り濃厚飼料給与量と産乳量の関係を該当する階層と比較検討する。

●自己の年間産乳成績(産乳量や飼料効果など)との比較から、自己の牛群の産乳能力や自給飼料の給与構造(種類、調製方法、品質および年間の給与体系)を検討する。

●この表について、産乳量階層別飼料効果と乳飼比の相関性の有無と地域の飼料給与実態や、産乳能力水準について考える。

(3) 換算一頭当り産乳量別牛群成績

績

(活用方法)

●自己の年間一頭当り産乳量を市町村、支庁および全道の該当する産乳量区分と比較してみる。

●自己の年間一頭当り飼料効果や乳飼比との関連から、産乳能力や飼料給与の実態とその改善の要否を検討する。

●この表について産乳量階層別に、飼料効果や乳飼比などを検討し、自己の成績の地域や全道における水準を知る。

(4) 検定頭数規模別牛群成績

(活用方法)

●自己の年間一頭当り産乳量を市町村、支庁および全道の該当する頭数規模階層と比較検討する。

●自己の年間一頭当り飼料効果や乳飼比との関連から、産乳能力や飼料の実態とその改善の要否を検討する。

●この表について検定頭数規模別に飼料効果や乳飼比などを検討し、自己の成績の地域や全道における水準を知る。

1 表 年間牛群成績

	戸 数	月平均 検頭 数	換算 1頭 搾乳 日数									
				乳 量	乳 脂 肪	乳 脂 率	濃厚飼 料量	飼料効果	乳代 A	濃厚飼 料費B	A - B 円	乳飼比 %
中 標 津 計	39	18.7	351	6,202	228	3.7	1,007	6.2	525,669	63,708	461,961	12
管 内 計	334	17.8	352	6,289	226	3.6	1,100	5.7	528,398	73,674	454,724	14
全 道 計	2,354	12.6	353	6,384	234	3.7	1,494	4.3	540,427	98,583	441,844	18

2 表

年間産乳量階層別牛群成績

	年間産乳 量 t	戸 数	1戸当 り 検定 頭 数	能		力		濃		厚		飼		料		
				年 間 換 算 日 数	乳 量 kg	乳 脂 率 %	1日当り 乳 量 kg	濃厚飼 料 量 kg	年 間 飼 料 果 実	乳 代 A	濃厚飼料 費 B	A - B	乳飼比			
中標津計	200～249	2	32.9	350	7,101	259	3.6	20.3	1,274	3.6	5.6	601,015	80,890	520,125	13	41,920
	150～199	5	26.5	351	6,459	243	3.8	18.4	1,071	3.1	6.0	552,468	68,340	484,128	12	28,412
	100～149	19	19.6	351	6,057	221	3.6	17.2	991	2.8	6.1	512,075	62,373	449,702	12	19,385
	50～99	12	12.7	350	5,968	218	3.7	17.1	878	2.5	6.8	504,491	55,740	448,751	11	11,132
	49 以下	1	8.5	348	5,631	221	3.9	16.2	939	2.7	6.0	491,603	58,677	432,926	12	7,984
管内計	300～349	2	58.2	355	5,629	203	3.6	15.8	1,455	4.1	3.9	473,462	93,716	379,746	20	84,586
	250～299	1	37.8	353	6,708	230	3.4	19.0	884	2.5	7.6	551,979	61,741	490,238	11	33,405
	200～249	12	32.5	354	6,831	241	3.5	19.3	1,215	3.4	5.6	568,939	82,004	486,935	14	39,467
	150～199	55	26.0	353	6,439	232	3.6	18.3	1,104	3.1	5.8	541,100	74,065	467,035	14	28,746
	100～149	122	19.3	352	6,284	227	3.6	17.8	1,103	3.1	5.7	528,655	73,476	455,179	14	21,241
全道計	50～99	110	13.2	351	6,076	219	3.6	17.3	1,032	2.9	5.9	510,365	69,407	440,958	14	13,636
	49 以下	32	5.6	347	6,045	222	3.7	17.4	1,139	3.3	5.3	512,362	79,143	433,219	15	6,391
	400 以上	6	68.3	352	7,177	267	3.7	20.4	2,022	5.8	3.5	611,784	135,059	476,725	22	138,026
	350～399	2	41.4	352	8,611	315	3.7	24.5	2,332	6.6	3.7	728,572	156,965	571,607	22	96,433
	300～349	5	50.4	353	6,488	243	3.7	18.4	1,994	5.6	3.3	554,367	126,947	427,420	23	100,394
全道計	250～299	20	39.2	352	6,839	253	3.7	19.4	1,767	5.0	3.9	580,867	119,177	461,690	21	69,280
	200～249	37	30.8	354	7,113	260	3.7	20.1	1,717	4.8	4.1	601,868	114,497	487,371	19	52,915
	150～199	133	25.4	353	6,630	242	3.7	18.8	1,430	4.1	4.6	560,428	94,826	465,602	17	36,272
	100～149	464	18.3	353	6,526	238	3.6	18.5	1,481	4.2	4.4	551,316	97,768	453,548	18	27,086
	50～99	967	11.6	353	6,208	228	3.7	17.6	1,457	4.1	4.3	525,742	95,784	429,958	18	16,880
全道計	49 以下	720	5.5	352	5,928	219	3.7	16.8	1,459	4.1	4.1	503,432	95,969	407,463	19	7,972

3 表

換算 1 頭当りの産乳量別牛群成績

(9) 16 年度 県

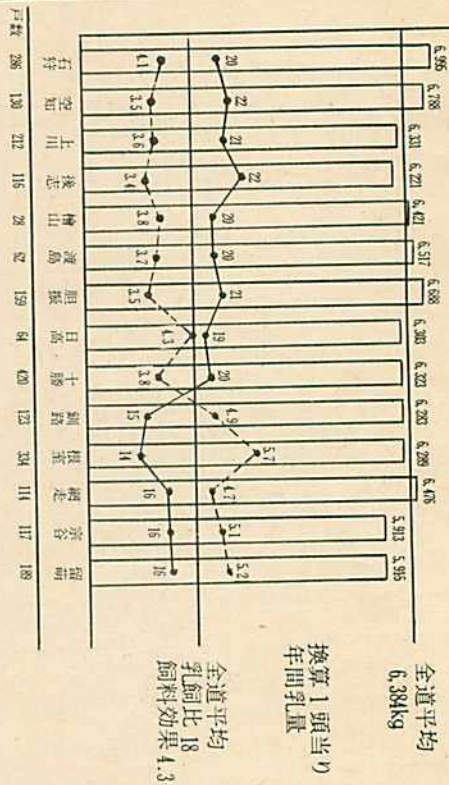
換算1頭当り産乳量別 kg	戸数	1戸当り検定頭数	年間1戸当り			年間換算1頭当り											
			乳量kg	乳脂量kg	乳脂率%	搾乳日数	乳量	乳脂量	乳脂率	1日当り乳量	濃厚飼料量kg	飼料効果	乳代A	濃厚飼料費B	A-B	乳飼比%	
中標津計	8,000	1	15.9	152,057	6,241	4.1	350	9,563	393	4.1	27.3	1,479	6.5	851,423	91,756	759,667	11
	7,000	2	20.4	148,838	5,576	3.7	349	7,296	273	3.7	20.9	1,234	5.9	623,540	79,503	544,037	13
	6,000	18	18.5	120,838	4,411	3.7	350	6,528	238	3.6	18.7	1,002	6.5	551,935	63,361	488,574	11
	5,000	18	18.9	105,890	3,872	3.7	352	5,593	205	3.7	15.9	963	5.8	472,920	60,829	412,091	13
	8,000	11	15.6	130,851	4,843	3.7	352	8,388	310	3.7	23.8	1,419	5.9	713,237	95,823	617,414	13
根室管内計	7,000	59	16.3	120,109	4,363	3.6	353	7,379	268	3.6	20.9	1,243	5.9	622,397	84,004	538,393	13
	6,000	132	17.8	115,482	4,156	3.6	352	6,491	234	3.6	18.4	1,107	5.9	545,275	74,075	471,200	14
	5,000	116	19.0	107,109	3,823	3.6	351	5,627	201	3.6	16.0	1,031	5.5	470,993	68,585	402,408	15
	4,000	16	16.9	79,865	2,894	3.6	351	4,736	176	3.6	13.5	887	5.3	399,125	60,976	338,149	15
	8,000	117	11.7	99,875	3,759	3.8	354	8,566	322	3.8	24.2	1,972	4.3	733,625	132,126	601,499	18
全道計	7,000	434	13.4	99,458	3,695	3.7	353	7,415	275	3.7	21.0	1,780	4.2	631,434	117,828	513,606	19
	6,000	909	12.8	83,012	3,037	3.7	353	6,471	237	3.7	18.3	1,497	4.3	547,426	98,430	448,996	18
	5,000	733	12.5	70,202	2,537	3.6	352	5,596	202	3.6	15.9	1,284	4.4	470,940	84,693	386,247	18
	4,000	150	10.4	49,168	1,782	3.6	352	4,720	171	3.6	13.4	1,234	3.8	397,655	81,042	316,613	20
	3,000	11	5.5	21,077	776	3.7	351	3,845	142	3.7	11.0	1,225	3.1	326,374	83,954	242,420	26

4 表

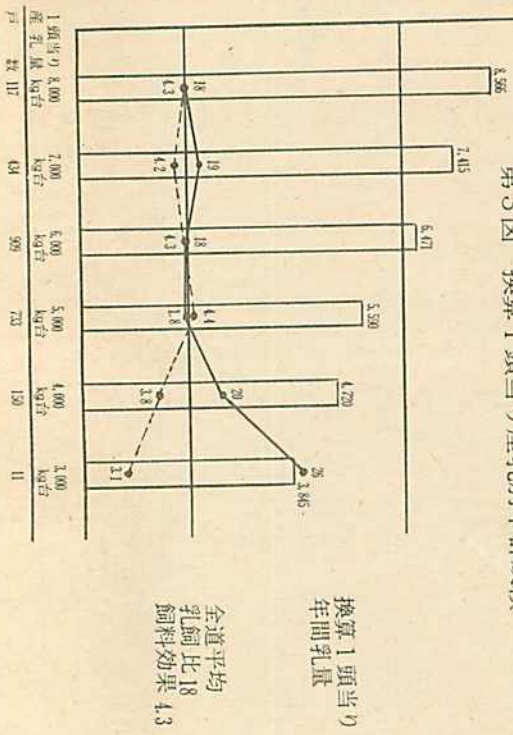
検 定 頭 数 規 模 別 牛 群 成 績

検定牛 頭数別	戸 数	1戸当 り検定 頭 数	年 間 1 戸 当 り			年 間 換 算			1 頭 当 り			乳飼 比率					
			乳 量	乳脂量	乳脂率	搾乳 日数	乳 量	乳脂量	乳脂率	1日当 り乳量	濃厚飼 料量		飼 料 果	乳代A	濃厚飼料 費 B	A - B	
中標津計	41以上																
	36~40	1	36.2	189,961	6,792	3.6	352	5,248	188	3.6	14.9	910	5.8	439,366	59,515	379,851	14
	31~35	2	32.9	233,621	8,531	3.7	350	7,101	259	3.6	20.3	1,274	5.6	601,015	80,890	520,125	13
	26~30	3	26.8	171,476	6,376	3.7	351	6,391	238	3.7	18.2	1,063	6.0	544,281	67,683	476,596	12
	21~25	5	22.2	125,637	4,516	3.6	354	5,664	204	3.6	16.0	1,087	5.2	475,558	69,065	406,493	15
	16~20	14	18.6	115,038	4,226	3.7	351	6,171	227	3.7	17.6	923	6.7	523,072	57,770	465,302	11
	11~15	11	13.7	87,065	3,241	3.7	350	6,355	237	3.7	18.2	988	6.4	541,372	62,675	478,697	12
	10以下	3	8.5	54,256	2,043	3.6	350	6,358	239	3.8	18.2	899	7.1	544,594	56,145	488,449	10
	41以上	2	58.2	327,351	11,819	3.6	355	5,629	203	3.6	15.8	1,455	3.9	473,462	93,716	379,746	20
	36~40	4	37.1	225,628	7,830	3.5	353	6,086	211	3.5	17.2	1,007	6.0	503,238	68,389	434,849	14
根室管内計	31~35	11	32.9	203,969	7,184	3.5	354	6,201	218	3.5	17.5	1,172	5.3	516,081	78,693	437,388	15
	26~30	30	27.6	172,135	6,181	3.6	352	6,244	224	3.6	17.7	1,043	6.0	523,998	69,831	454,167	13
	21~25	52	23.2	143,990	5,147	3.6	353	6,206	222	3.6	17.6	1,130	5.5	519,912	75,362	444,550	14
	16~20	92	18.3	115,280	4,173	3.6	351	6,306	228	3.6	18.0	1,080	5.8	531,170	72,067	459,103	14
	11~15	90	13.8	89,639	3,246	3.6	352	6,517	236	3.6	18.5	1,077	6.1	548,851	72,556	476,295	13
	10以下	53	7.1	44,270	1,621	3.7	348	6,194	227	3.7	17.8	1,148	5.4	524,367	78,607	445,760	15
	41以上	19	54.0	359,713	13,255	3.7	352	6,656	245	3.7	18.9	1,876	3.5	564,875	123,213	441,662	22
	36~40	12	38.4	261,852	9,628	3.7	352	6,812	250	3.7	19.3	1,718	4.0	577,481	114,966	462,515	20
	31~35	27	33.3	211,007	7,685	3.6	354	6,346	231	3.6	17.9	1,543	4.1	535,642	102,192	433,450	19
	26~30	74	28.1	183,683	6,676	3.6	353	6,547	238	3.6	18.5	1,440	4.5	552,321	95,971	456,350	17
全道計	21~25	140	23.0	146,940	5,343	3.6	353	6,392	232	3.6	18.1	1,432	4.5	539,289	94,916	444,373	18
	16~20	352	18.1	115,479	4,207	3.6	352	6,367	232	3.6	18.1	1,415	4.5	537,679	93,828	443,851	17
	11~15	578	13.3	85,118	3,120	3.7	353	6,386	234	3.7	18.1	1,512	4.2	540,659	99,229	441,430	18
	10以下	1,152	6.9	43,132	1,596	3.7	353	6,293	233	3.7	17.9	1,512	4.2	534,958	99,408	435,550	19

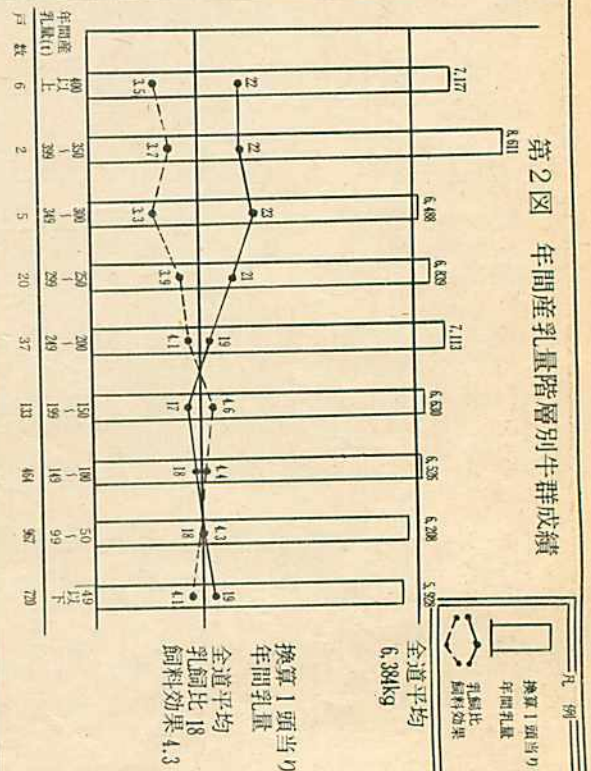
第1図 年間牛群成績



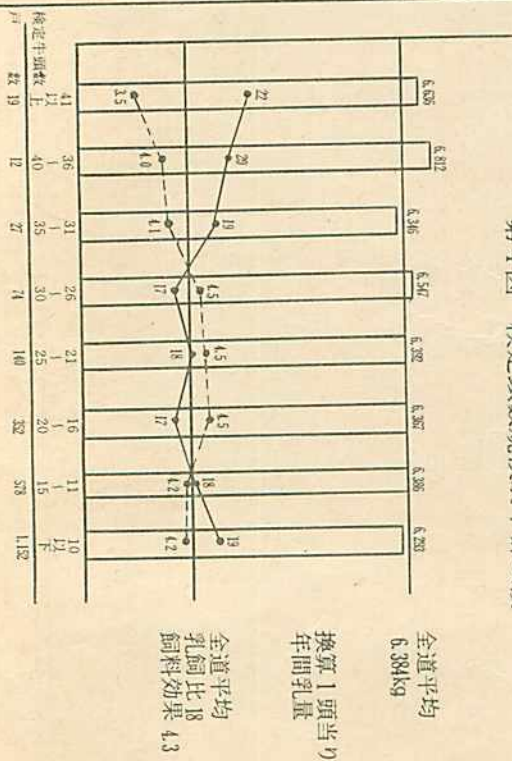
第3図 換算1頭当り産乳別牛群成績



第2図 年間産乳量階層別牛群成績



第4図 検定頭数規模別牛群成績



日、月別成績の部
 (1) 月別換算一頭一日当り乳量
 (活用方法)
 ● 自己の各月一頭一日当り乳量と比較検討する。(毎月分の「今月の総生乳生産量」欄、および「三ヶ月分の最近十二か月総生乳生産量」欄の月平均の項から求める) ● 月別泌乳曲線に図化し、自己と市町村、支庁および全道と比較する。(別掲の支庁別グラフを参考にする) ● 泌乳曲線から自己の産乳量の季節差の要因(分娩時期の集中度、飼料構成、畜舎および気象環境との関連を考慮する。)(2) 月別換算一頭一日当り濃厚飼料給与量
 (活用方法)
 ● 自己の各月一頭一日当り濃厚飼料給与量と比較検討する。 ● 各月一頭一日当り給与量の自己と市町村、支庁および全道との差違を「月別換算一頭一日当り乳量」との関連で検討し、産乳能力や飼料給与体系の改善に役立てる。(別掲の支庁別グラフを参考にする) (3) 月別換算一頭一日当り飼料効果
 (活用方法)
 ● 自己の各月一頭一日当り飼料効果を比較検討する。 ● 各月一頭一日当り給与量の、自己と市町村、支庁および全道との差違を「月別換算一頭一日当り乳量」ならびに「月別換算一頭一日当り濃厚飼料給与量」との関連で検討し、産乳能力や飼料給与技術の改善に役立てる。(別掲の支庁別グラフを参考にする) (4) 月別換算一頭一日当り乳飼比
 (活用方法)
 ● 自己の各月一頭一日当り乳飼比と比較検討する。 ● 各月一頭一日当り乳飼比の、自己と市町村、支庁および全道との差違を「月別換算一頭一日当り飼料効果」との関連で検討し、産乳能力や飼料給与技術の改善に役立てる。(別掲の支庁別グラフを参考にする)

第五表

月別換算一頭一日当り乳量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
中 標 津	17.3	18.5	22.4	21.3	20.7	19.4	18.0	15.4	14.7	14.3	14.3	15.1	17.7
根 室	17.4	18.4	22.3	21.4	20.8	19.7	18.2	15.7	15.1	14.5	14.9	15.5	17.9
全 道	18.4	19.4	21.5	20.2	19.0	18.4	17.6	16.2	16.4	16.2	16.9	17.5	18.1

第六表

月別換算一頭一日当り濃厚飼料給与量

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
中 標 津	3.5	3.4	2.7	2.6	2.5	2.4	2.6	2.8	3.2	3.1	3.0	3.0	2.9
根 室	3.5	3.6	3.0	2.9	2.8	2.8	3.0	3.1	3.3	3.2	3.2	3.3	3.1
全 道	4.8	4.7	4.0	4.0	3.9	3.9	4.0	4.1	4.3	4.2	4.5	4.6	4.2

第七表

月別換算一頭一日当り飼料効果

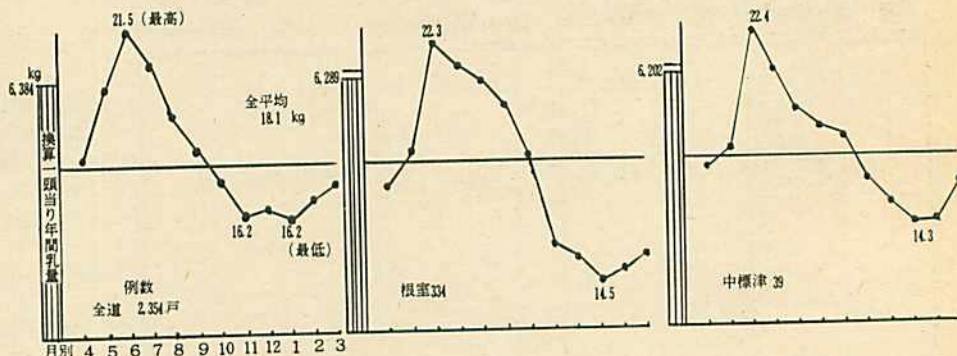
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
中 標 津	4.9	5.4	8.3	8.2	8.3	8.1	6.9	5.5	4.6	4.6	4.8	5.0	6.1
根 室	5.0	5.1	7.4	7.4	7.4	7.0	6.1	5.1	4.6	4.5	4.7	4.7	5.8
全 道	3.8	4.1	5.4	5.1	4.9	4.7	4.4	4.0	3.8	3.9	3.8	3.8	4.3

第八表

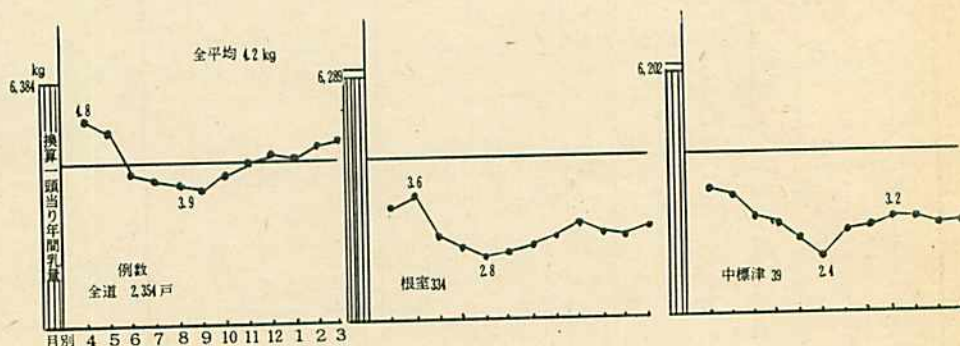
月別換算一頭一日当り乳飼比

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
中 標 津	16	15	10	10	8	9	10	13	15	16	16	15	12
根 室	17	17	11	11	11	11	13	16	17	17	17	17	14
全 道	21	19	15	15	16	16	17	19	20	20	20	20	18

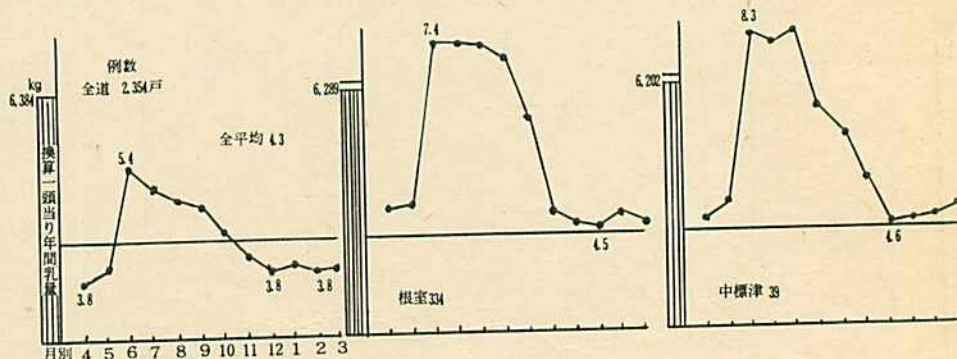
第5図
月別換算
1頭1日当り乳量
全平均18.1 kg



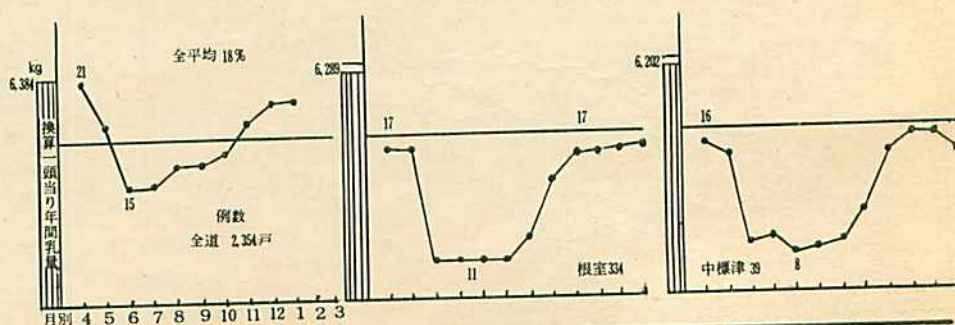
第6図
月別換算
1日1頭当り
濃厚飼料給与量
全平均4.2 kg

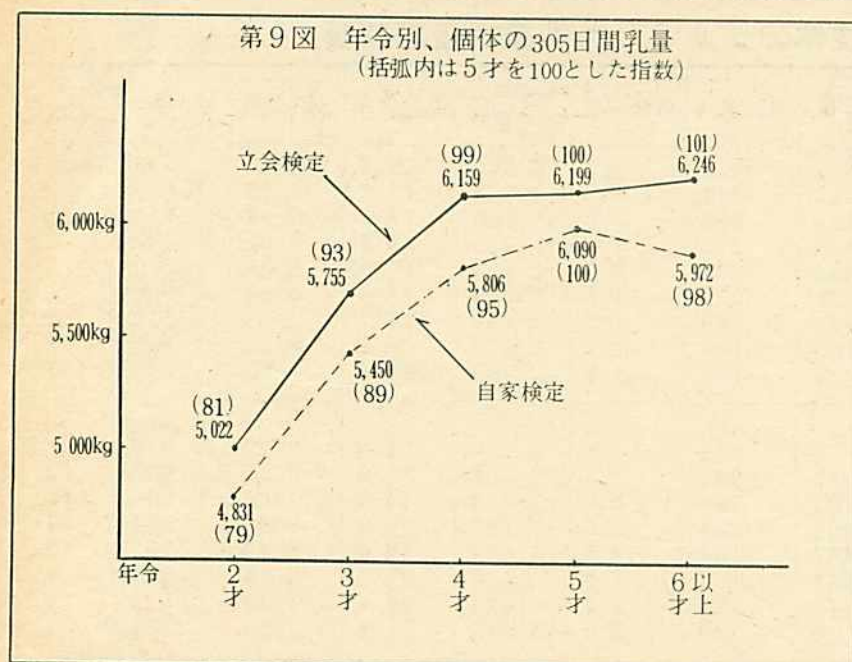


第7図
月別換算
1頭1日当り
飼料効果
全平均4.3



第8図
月別換算
1頭1日当り乳飼比
全平均18%



第9図 年令別、個体の305日間乳量
(括弧内は5才を100とした指数)

四、個体の三〇五日間検定成績
「まえがき」の項に説明があるように、本年度の乳検成績概要は、主として一年間の牛群データを中心にとりまとめました。個体の成績は、事業開始当初で検定終了牛の頭数が十分でなく、また、分娩季節にもかたよがりがあるので、今回は後掲の三表についてのみ成績

をとりまとめるに止めました。
なお、これらの成績は、
(イ)乳期の最初(分娩直後)から
この事業の検定を実施し、
昭和五十一年二月末日までに
三〇五日間の乳期を終了した
検定牛についてとりまとめた
ものです。

〔第10-1表〕

個体の305日間成績

地区名	例数	乳量 kg		乳脂量 kg	乳脂率 %		濃厚飼料 給与量kg	乳飼比 %	飼料 効果	体重能 率指数
		平均	最低-最高		平均	最低-最高				
北海道	5,215	5,844	2,228-12,181	213	3.6	2.7-5.5	1,290	18	5.1	9.7
内地	2,776	5,718	2,004-10,504	197	3.5	2.0-5.2	2,677	30	2.3	10.3
全国	7,991	5,800	2,004-12,181	207	3.6	2.0-5.5	1,772	22	4.1	9.9

〔第10-2表〕

年令別、個体の305日間成績(北海道)

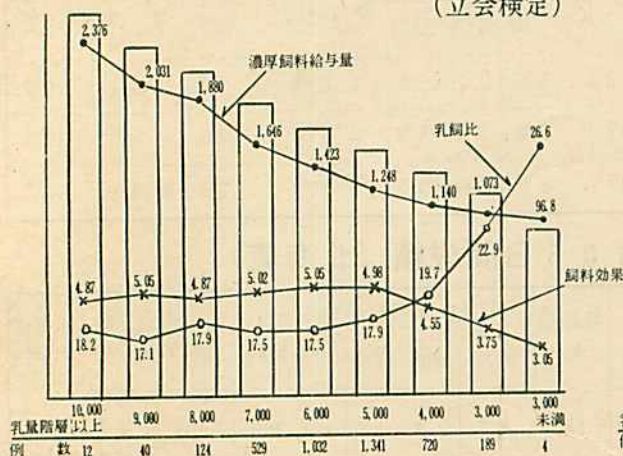
検定区分	年令別	例数	乳量 kg		乳脂量 kg	乳脂率 %		濃厚飼料 給与量kg	乳飼比 %	飼料 効果	体重能 率指数
			平均	最低-最高		平均	最低-最高				
立会検定	2年型	747	5,022	2,382-9,302	186	3.7	2.9-4.7	1,303	21	4.3	9.1
	3年型	769	5,755	2,944-11,525	210	3.7	2.8-5.1	1,342	19	4.8	9.6
	4年型	704	6,159	3,576-12,181	225	3.7	2.8-5.1	1,394	18	4.9	9.9
	5年型	601	6,199	3,523-10,716	227	3.7	2.9-5.1	1,340	17	5.1	9.9
	6年型以上	1,170	6,246	3,268-10,558	227	3.6	2.8-5.5	1,361	17	5.1	9.8
自家検定	2年型	218	4,831	2,637-7,945	175	3.6	3.0-4.6	1,046	18	5.1	9.0
	3年型	230	5,450	2,228-8,406	196	3.6	2.9-4.8	1,085	16	5.6	9.7
	4年型	212	5,806	3,051-8,277	209	3.6	2.9-4.7	1,174	16	5.3	9.9
	5年型	188	6,090	3,469-9,725	218	3.6	2.7-4.9	1,108	15	5.9	10.2
	6年型以上	376	5,972	3,298-9,289	212	3.5	2.7-4.7	1,082	15	6.1	10.0

[第10-3表]

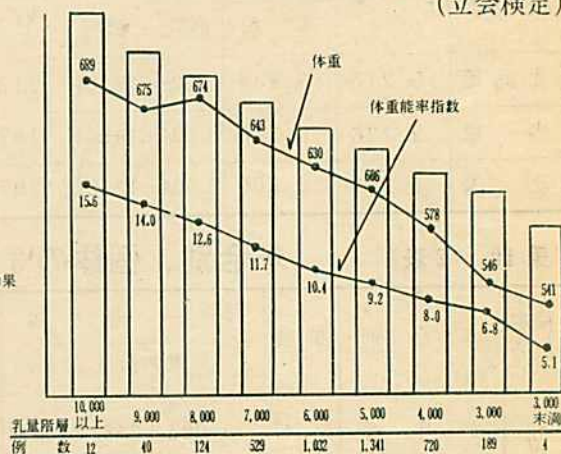
個体の305日間乳量階層別成績

検定区分	乳量階層 kg	頭数	乳脂量 kg	乳脂率%	濃厚飼料 給与量 kg	乳飼比%	飼料効果	体重 kg	体重能 率指数
立 会 検 定	10,000 以上	12	375	3.5	2,376	18.2	4.87	689	15.6
	9,000	40	344	3.7	2,031	17.1	5.05	675	14.0
	8,000	124	308	3.7	1,880	17.9	4.87	674	12.6
	7,000	529	272	3.7	1,646	17.5	5.02	643	11.7
	6,000	1,032	234	3.6	1,423	17.5	5.05	630	10.4
	5,000	1,341	202	3.6	1,248	17.9	4.98	606	9.2
	4,000	720	169	3.7	1,140	19.7	4.55	578	8.0
	3,000	189	136	3.7	1,073	22.9	3.75	546	6.8
	3,000 未満	4	103	3.8	968	26.6	3.05	541	5.1
自 家 検 定	10,000 以上	3	355	3.8	1,596	14.3	7.28	638	14.8
	9,000	18	302	3.6	1,505	14.8	6.41	605	13.9
	8,000	125	266	3.6	1,330	14.7	6.09	604	12.4
	7,000	300	229	3.6	1,185	15.0	6.05	601	10.8
	6,000	447	198	3.6	1,059	15.4	5.79	582	9.6
	5,000	251	164	3.6	962	17.0	5.14	560	8.3
	4,000	72	131	3.6	904	20.5	4.40	532	6.9
	3,000 未満	8	100	3.6	1,045	31.8	2.74	535	5.3

第10図
305日間乳量階層別濃厚飼料
給与量、乳飼比、飼料効果
(立会検定)



第11図
305日間乳量階層別体重
および体重能率指数
(立会検定)



あしがきにかえて

検定成績の意義を高めよう!!
昭和五十年年度の乳検成績概要に示されたいろいろな集計値や、その分析を通じてわかりただけです。さらに、検定成績は、単に検定農家自身のためばかりでなく、地域全体の酪農経営改善のために、あるいは地域全体の乳牛改良のために、広く公共的に使用されるものです。

その意味からしても、これら集計値の基礎をなしている毎月毎月の検定報告は、正確なデータの積み重ねでなければなりませんし、公共的な利用のための資料を提供するに十分なフィールド(現場)の体制が必要で、さらには得られた成績を、検定農家ははじめ関係各方面がより有効に活用することが大切です。

毎日検定農家に届けられる検定成績表や、成績概要を、ただ一枚の成績表や一冊の報告書に終らせることなく、それらのものが持つている意義を高めて、より価値のあるものにしていく努力が、今後ますます必要になってまいります。

検定農家、検定指導員、検定組合、役場、農協、普及所、そして道段階の関係団体など、検定事業をとりまくすべての人々の今後のご協力を切にお願い申し上げます。